

沖縄県で

国内52例目CSF(豚コレラ)患畜、 国内53例目CSF疑似患畜が確認されました

<発生施設の概要>

・52例目

所在地：沖縄県うるま市 飼養状況：393頭
(防疫措置対象：飼養者同一の1戸2農場(825頭))

<経緯>

- ・ 沖縄県が、1月6日(月)、農場から「飼養豚が死亡している」との報告を受け、家畜防疫員による立入検査を実施。
- ・ 家畜保健衛生所での検査により、CSFの疑いが生じたため、国で精密検査を実施し、1月8日(水)、CSFの患畜であることが判明。

・53例目

所在地：沖縄県うるま市 飼養状況：921頭

<経緯>

- ・ 沖縄県が、1月7日(火)、52例目発生農場に隣接する農場において、家畜防疫員による立入検査を実施。
- ・ 1月8日(水)、家畜保健衛生所での精密検査により、CSF疑似患畜であることが判明。

ワクチン接種済みだからと安心せず、人や車両、ネズミ等の野生動物の出入による、ウイルス侵入に最大限の警戒をお願いします。

慢性型のCSFは、特徴的な症状がなく、気がつきにくい疾病です。

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、

便秘に続く下痢、呼吸障害等

異状を発見したら、すぐに家畜保健衛生所まで連絡ください。

連絡先：山梨県西部家畜保健衛生所

電話：0551-22-0771 FAX：0551-22-6728

夜間・土日・休日の連絡先：090-5564-1018

土日・休日の連絡先：090-5568-0817

飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、自分の農場・家畜を疾病から守りましょう！

※野生動物の侵入防止対策

- ・飼養衛生管理区域への野生動物侵入防止
- ・豚舎周辺の除草、木の伐採
- ・豚舎内外の整理、整頓、清掃
- ・飼料タンク下等エサこぼれ防止
- ・堆肥舎、資材庫へも野生動物侵入防止
- ・豚舎内のネズミの駆除
- ・豚舎開口部への防鳥ネットの設置

※消毒の徹底

- ・農場や豚舎の出入り口、周辺の消毒
- ・農場に出入りする工事車両や農場の従業員の車両を含めた全ての車両の洗浄、消毒の徹底

※出荷の際の消毒に注意

- ・出荷車両内外（特に運転席）の消毒
- ・運転手の更衣や長靴の履き替えを徹底